ソウルフードは、おいしい焼肉。
2月の寒さを皆で一丸となって乗り切る
「北見厳寒の焼き肉まつり」

きたみし
北見市

人口 121,209人　世帯数 61,436世帯

主な産業 たまねぎ、ホタテ、カーリング、ふるさとテレワーク推進事業

移住支援

●移住体験施設「ちょっと暮らし※」事業：2戸
●移住体験ツアー：北見厳寒の焼き肉まつりへの参加、移住者宅訪問、除雪体験、冬道運転講習、病院見学。地域おこし協力隊が、移住希望者のニーズに合わせて、移住者宅訪問や冬道運転講習、除雪体験などを通じて北見のまち・生活環境などを案内します（エブリデーツアー予定）。

■土地・住宅に関する支援
①相談者からの希望を聞き、宅建協会北見支部を通じ物件紹介の依頼をし、相談者へ案内。
②北見市内の住宅に太陽光発電システムを設置又は建売住宅供給者等から太陽光発電システム付の住宅（新築のものに限る）を購入する方に対して6万円の補助。
③既存住宅の省エネルギー化やバリアフリー化改修工事費30万円以上に対し20万円を限度に補助。

■起業・就労に関する支援
①ハローワークなどの求人情報を提供。

②2年間の農業研修を終え、北見市内で農地を確保して就農し、年齢が20歳以上46歳未満の方を対象に、経営を開始したときから、毎月5万円を24カ月間を限度に補助／農地の借上料の1/2以内（上限20万円/年）を5年間補助／借りた農業機械・施設等に対し、借上料の1/2以内（上限20万円/年）を5年間補助。
③北見市に開発拠点がある、または進出を計画している首都圏のIT企業とのマッチング。

■子育てに関する支援
①小学校就学前の乳幼児（入通院･訪問看護）、小学校就学児（入院・訪問看護）に助成。
※一部負担・1割自己負担あり。
②小学校給食費の1/3を市が負担。

生活情報

■病院・福祉施設
オホーツク圏のセンター病院である北見赤十字病院を核とした病院・診療所の医療連携が行われ、一次医療から高度な治療を要する三次医療まで一貫した医療体制が図られています。北見市夜間急病センターも開設。

■保育・学校
保育所・幼稚園36カ所、小学校26校、中学校15校、高校8校、専修学校5校、北見工業大学、日本赤十字北海道看護大学、北見地域職業訓練センター

■ショッピング
コミュニティプラザパラボ、イトーヨーカドー北見店、イオン北見店、東武イーストモール、ショッピングセンターメッセ、スーパーセンタートライアル北見中ノ島店等

■特産品
たまねぎ、ホタテ、白花豆、オホーツク北見塩焼きそば、オホーツク干貝柱塩ラーメン

■駅・アクセス
・暮らしの起点となる駅・公共交通機関
JR北見駅、北見バスターミナル
・最寄り空港までの自動車での所要時間
女満別空港まで45分

まちの見どころ

■道の駅・産直所
道の駅おんねゆ温泉

■自然・温泉・レジャー・観光
カーリング、温根湯温泉、はっか記念館、山の水族館

■おまつり・イベント
2月　北見厳寒の焼き肉まつり
7月　北見ぽんちまつり
10月　北見菊祭り

※「ちょっと暮らし」とは？
北海道への移住や二地域居住を希望している方に対し、市町村が生活に必要な家具や家電を備え付けた住宅等を用意し、その地域での生活を体験していただくもの。

移住に関するお問い合わせ窓口

企画財政部企画課
WEBサイト
メールアドレス

☎ 0157-25-1103（月～金　8：45～17：30）
http://www.city.kitami.lg.jp/docs/2014042000018/
kikaku@city.kitami.lg.jp

夏、過ごしやすく

地震なども少ない安心暮らし。

女満別空港から首都圏にもひとっ飛び

あばしりし

網走市

人口 37,415人　世帯数 18,534世帯

主な産業
漁業（サケ･カニ･ホタテ･しじみなど）
農業（麦類･ビート･肉類･牛乳など）

移住支援

●移住体験施設「ちょっと暮らし」事業：2戸
●支援団体：網走への移住を促進する会（移住促進のための調査・研究、長期滞在希望者の受け入れ物件確保等）。

■土地・住宅に関する支援

①土地情報の提供。
②土地の販売・分譲：海岸町 宅地【1区画】377.20㎡=5,922,000円、字天都山 宅地【4区画】230.00～667.57㎡=1,633,000～3,680,000円。
③市内で住宅を取得し、自ら居住する場合、市のリフォーム融資資金（50万円以上、限度額500万円）を利用可能。

■起業・就労に関する支援

①毎年8月に網走商工会議所と共催で、合同企業説明会を実施。
②経営開始から5年以内に借り入れた融資に関する債務保証料及び取得した農地等に係る固定資産税相当額を助成。

③農家子弟及び他産業からの新規就農者に対し、1万円相当のギフトセットを贈る（網走市農政推進協議会事業）。
④市内で新たに事業を起こそうとする方に対して、店舗開業に要する経費の一部（50万円以内）を助成。
⑤中心市街地商店街の空き店舗を活用して起業する方に家賃費用や店舗改修費用を補助。
⑥市内中小企業等が行う初期段階の研究開発やアイディアプランなどを支援（対象経費の10/10、上限30万円）。
⑦市内中小企業等が行う新製品開発事業を支援。新製品・新技術事業（対象経費の1/2、上限200万円）、商品化事業（対象経費の1/2、上限100万円）を支援。
⑧市内中小企業者に対し、低利融資制度を設けるとともに信用保証料の全額を補助。

■子育てに関する支援

①小学校入学前までの医療費が無料または1割負担（所得制限あり）。
②中学校卒業前までの入院・指定訪問看護利用に係る医療費が無料または1割負担（所得制限あり）。

生活情報

■病院・福祉施設

地域のセンター病院となる総合病院「網走厚生病院」や脳神経外科の専門医院「網走脳神経外科」があります。

■保育・学校

すずらん保育園ほか3カ所、網走幼稚園ほか5カ所、網走小学校ほか8校、第一中学校ほか4校、網走南ヶ丘高校ほか1校、東京農業大学オホーツクキャンパス

■ショッピング

コープさっぽろ、ツルハドラック、コンビニ、ユニクロ、ホーマック、ベスト電器

■特産品

釣きんき、あぶらがに、網走ザンギ丼、菜根糖、網走ビール、ニポポ、流氷硝子など

■駅・アクセス

・暮らしの起点となる駅・公共交通機関
JR網走駅、網走バスターミナル
・最寄り空港までの自動車での所要時間
女満別空港まで約30分

まちの見どころ

■道の駅・産直所

道の駅流氷街道網走、ＪＡオホーツク網走野菜直売所

■自然・温泉・レジャー・観光

博物館網走監獄、オホーツク流氷館、能取岬、道立オホーツク公園

■おまつり・イベント

7月　オホーツクあばしり夏まつり
9月　七福神まつり
2月　オホーツクあばしり流氷まつり

■冬の暮らしアドバイス

道内の他の地域に比べて積雪は少ないまちです。

移住に関するお問い合わせ窓口

企画調整課企画係
WEBサイト
メールアドレス

☎0152-44-6111（内線351・372）（月～金　8：45～17：30）
http://www.city.abashiri.hokkaido.jp/320mati/010izyuu/
ZUSR-KS-KIKAKU-KIKAKU@city.abashiri.hokkaido.jp

オホーツク海沿岸のほぼ中央に位置し、
漁業を中心とした一次産業の港町。
冬は流氷が訪れ、四季の表情がくっきりと

もんべつし
紋別市

人口 23,368人　世帯数 12,178世帯

主な産業 漁業、酪農業や林業、各種加工業

移住支援

●移住体験施設「ちょっと暮らし」事業：7戸

■土地・住宅に関する支援

①土地、住宅（購入・賃貸）の情報提供。

■起業・就労に関する支援

①ハローワークなどの求人情報を提供。

②紋別市創業促進事業補助金：紋別市で新たに創業する方に対し創業に係る補助対象経費に対し上限を200万円として交付する。

③紋別市Uターン等促進事業（研修赴任・資格取得・定着奨励）：本州又は札幌圏に住民登録をしている44歳以下で当市Uターン情報センターに求職登録をし、当市に移住を検討している方を受け入れている企業に対する助成。※必要な要件等、詳細はお問い合わせください。

■子育てに関する支援

①中学生以下の医療費（保険適用分のみ、入通院・歯科・調剤も含む）を助成。（所得制限有り）。

②保育料についての支援：第2子は半額、第3子以降は無料。

③ブックスタート制度：7カ月健診時に絵本をプレゼント。

④ファミリーサポートセンター事業：働きながら子育てをする方が安心して仕事と育児が両立できるように保育施設への送り迎えや、保育施設の時間外、保育休業日のお預かりなどをサポート。

生活情報

■病院・福祉施設

2015年春、紋別市・滝上町・興部町・西興部村・雄武町が共同運営する広域紋別病院が移転・新築オープン。病院5カ所、診療所5カ所、歯科診療所11カ所

■保育・学校

紋別保育所ほか7カ所、認定こども園紋別幼稚園ほか3カ所、紋別小学校ほか6校、紋別中学校ほか3校、紋別高校、専修学校2校、特別支援学校2校

■ショッピング

イオン、CITY、ホーマック、札幌ドラッグストア、ツルハドラッグほか、コンビニ数件有り

■特産品

カニ、ホタテ、ホワイトカレー（ご当地グルメ）

■駅・アクセス

・暮らしの起点となる駅・公共交通機関

主な公共交通機関はバス。都市間バス（旭川行、札幌行）、市内循環バスなどが運行。

・最寄り空港までの自動車での所要時間

オホーツク紋別空港へ15分

まちの見どころ

■道の駅・産直所

道の駅オホーツク紋別には道立オホーツク流氷科学センター（別途入場料有）が併設されており、1年中流氷に触れることのできる厳寒体験室、ホワイトカレーや軽食を提供している喫茶コーナーがあります。

■自然・温泉・レジャー・観光

①国内唯一のアザラシ保護施設「オホーツクとっかりセンター」では、アザラシとふれあうことができます。

②道立の「オホーツク流氷公園」は子供から大人まで楽しめる施設です。

■おまつり・イベント

7月下旬　紋別港まつり

10月中旬　紋別グルメまつり

2月中旬　紋別流氷まつり

■冬の暮らしアドバイス

お車の移動は慣れない冬道運転となるため、アイスバーンに気をつけ、スピードダウンでの走行や周囲をしっかり確認するなどの安全運転をおすすめします。

移住に関するお問い合わせ窓口

観光交流推進室
WEBサイト
メールアドレス

☎ 0158-27-5180（月～金 8：45～17：30）
http://mombetsu.jp/zyutaku/ijyu/index.html
kouryu@city.mombetsu.lg.jp

小さくてもキラリ。
おいしい野菜とのびのび子育て
夢輝くまちづくり

びほろちょう
美幌町

人　口 20,593人　世帯数 9,704世帯

主な産業　農業（甜菜、馬鈴薯、小麦、玉葱等）、林業（FSC 森林認証材等）

移住支援

●移住体験施設「ちょっと暮らし」事業：２戸

■土地・住宅に関する支援

①町内で生産された FSC 認証材を 10㎥以上使用し、かつ COC 認証町内工務店による新築・改築の場合、1㎥あたり４万円を補助（上限 100 万円）。

②工費 50 万円以上（税抜）のリフォーム、あるいは CO_2 排出削減に寄与する設備の設置工事などに対し、工事費の 1/5（上限 50 万円）を補助。

③太陽光発電システムを設置する、もしくは太陽光発電システム付きの住宅を購入する個人に対し、10 万円を補助。

■起業・就労に関する支援

①ハローワークなどの求人情報を提供。

②条件を満たした就農研修者に資金貸付や家賃助成を行い、その後も経営準備金・経営安定のための資金・農地賃借料や取得に関して補助金を支給。

③中心市街地の空き店舗を借用して活用する場合、上限を２万円として月額家賃の補助をする。

■子育てに関する支援

①０歳から小学校就学前まで通院費と入院費の全額又は一部助成（所得制限あり）。

②小学校１年生から小学校６年生まで入院費についてのみ全額又は一部助成（所得制限あり）。

③認可保育所と認可外保育所の保育料の差額を補助（上限有り）。

④身体･精神障がい者（3 歳未満）の医療費（入院・通院）が無料、３歳以上の医療費（入院・通院）の個人負担額は 5%（月額上限有り）。

⑤ひとり親家庭（3 歳未満）の医療費（入院・通院）が無料、３歳以上の医療費（入院･通院）の個人負担額は 5%（月額上限有り）。

生活情報

■病院・福祉施設

救急告示病院の「町立国民健康保険病院」、保健福祉の総合相談と健康づくりの実践機能を備えた保健福祉総合センター「しゃきっとプラザ」

■保育・学校

美幌保育園ほか５カ所、美幌藤幼稚園ほか１カ所、美幌小学校ほか２校、美幌中学校ほか１校、美幌高校（普通課、地域資源応用課、生産環境科学課）

■ショッピング

スーパーマーケット（コープさっぽろ、スーパーアークス、CITY）、サッポロドラッグストア、コンビニ、その他

■特産品

グリーンアスパラガス、美幌豚醤「まるまんま」

■駅・アクセス

・暮らしの起点となる駅・公共交通機関
JR 美幌駅、バス
・最寄り空港までの自動車での所要時間
女満別空港まで 10 分

まちの見どころ

■道の駅・産直所

道の駅ぐるっとパノラマ美幌峠、物産館「ぽっぽ屋」

■自然・温泉・レジャー・観光

美幌峠、峠の湯びほろ、みどりの村　森林公園、美幌林業館「きてらす」

■おまつり・イベント

７月　美幌観光和牛まつり
８月　びほろ夏まつり
９月４～６日　美幌ふるさと祭り
２月　びほろ冬まつり

■冬の暮らしアドバイス

冬期間は、気象や路面状況の変化により、歩行や車の運転に注意が必要です。

移住に関するお問い合わせ窓口

美幌町役場　経済部商工観光グループ
WEB サイト
メールアドレス

☎ 0152-73-1111（内線 292）（月～金 8：45 ～ 17：30）
http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/bunya/taiken/
iju@town.bihoro.hokkaido.jp

森は舞台、恵みは糧、思いが主役の津別町
環境にやさしい安心安全な暮らしを推進し、
芸術家と職人が町の魅力をプロデュース!

つべつちょう
津別町

人　口 5,124人　世帯数 2,473世帯

主な産業　農業、林業、木材加工業。有機野菜、オーガニック牛乳（日本初の JAS 認証）、職人による木工品

移住支援

●移住体験施設「ちょっと暮らし」事業：1 戸

■土地・住宅に関する支援

①住宅の建設、購入に対し最高 200 万円の奨励金を交付。

②住宅の改修に対し最高 50 万円の奨励金を交付。

③太陽光発電設備の設置に対し最高 12 万円の補助金を交付。

④ペレットストーブの設置に対し最高 25 万円の補助金を交付。

■起業・就労に関する支援

①新規就農者に、経営自立安定補助金の交付などの助成制度がある。

②起業者に対し最高2,000 万円の補助金を交付。

■子育てに関する支援

①中学生までの医療費の助成制度あり。

②新生児に祝い品を支給。

③認定こども園　給食費・教材費・入園料無料。

④認定こども園　小学 6 年生までのお子さんがいる場合、利用者負担額は、第 2 子半額。第 3 子以降無料。

⑤満 1 歳の誕生月まで 15,000 円 / 月支給。

生活情報

■病院・福祉施設

津別病院（訪問介護可）、くに歯科クリニック、しらき歯科、特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、ケアハウス、認知症型グループホーム、小規模多機能居住介護支援事業所

■保育・学校

認定こども園こどもの杜、津別小学校、津別中学校、津別高校

■ショッピング

スーパー（グリーンマートつべつ）、コンビニ（セイコーマート、セブンイレブン）

■特産品

オーガニック牛乳、有機野菜、流氷牛、木工芸品、道の駅あいおい（クマヤキ、手作り豆腐、十割手打ちそば）、アロニアドリンク

■駅・アクセス

・暮らしの起点となる駅・公共交通機関

JR 美幌駅、津別バスターミナル（津別町役場隣）

・最寄り空港までの自動車での所要時間

女満別空港まで 30 分

まちの見どころ

■道の駅・産直所

道の駅あいおい（町の芸術家“シゲチャン”こと大西重成さんがデザインしたスイーツ「クマヤキ」が大人気！ものづくりの発信拠点にもなっています）、さんさん館

■自然・温泉・レジャー・観光

車を降りてすぐ絶景が見られる津別峠の“雲海”、森林セラピーが盛んなノンノの森、奥屈斜路温泉ランプの宿森つべつ、“神秘の湖”として知られるチミケップ湖（冬、ワカサギ釣りもできます）、シゲチャンランド、グレステンスキー、津別川での釣り。相生鉄道公園と 21 世紀の森には、旧国鉄時代の寝台車「オロネ 10」など全国的にも非常に貴重な鉄道遺産が保存されています。

■おまつり・イベント

6 月　クリンソウまつり
7 月　つべつ夏まつり
8 月　つべつ七夕まつり
9 月　つべつふるさとまつり
10 月　つべつ産業まつり

■冬の暮らしアドバイス

澄んだ空気の中で見るダイヤモンドダストと冬の星空は幻想的です。

移住に関する お問い合わせ窓口

産業振興商工観光グループ　☎ 0152-76-2151（内線 258）（月～金 8：30 ～ 17：15）
WEB サイト　http://www.town.tsubetsu.hokkaido.jp/30iju/mig.html
メールアドレス　sangyo1@town.tsubetsu.hokkaido.jp

ドココ？シレトコ！

世界自然遺産「知床」を抱える町です。

2015 年で世界自然遺産登録 10 周年

しゃりちょう

斜里町

人口 12,034人　世帯数 5,603世帯

主な産業　鮭・鱈を中心とした漁業、小麦・てん菜・馬鈴薯を中心とした農業、ウトロ地区を中心とした観光業

移住支援

■起業・就労に関する支援

①ハローワークの求人情報を提供。

■子育てに関する支援

①就学前児童の医療費が無料（小中学生は入院のみ）。※所得制限あり。

生活情報

■病院・福祉施設

斜里町国民健康保険病院、北海道立ウトロ診療所、清里クリニック、歯科診療所５カ所、薬局３カ所

■保育・学校

双葉保育園ほか５カ所、斜里大谷幼稚園、斜里小学校ほか５校、斜里中学校ほか１校、斜里高校

■ショッピング

コンビニ９カ所、ドラッグストア２カ所、スーパーマーケット５カ所、ガソリンスタンド８カ所、金融機関９店舗

■特産品

秋鮭などをはじめとした水産物、馬鈴薯などの農産物、知床の自然

■駅・アクセス

・暮らしの起点となる駅・公共交通機関

JR 知床斜里駅

・最寄り空港までの自動車での所要時間

女満別空港まで約１時間

まちの見どころ

■道の駅・産直所

道の駅しゃり、道の駅うとろ・シリエトク

■自然・温泉・レジャー・観光

平成 17 年に世界自然遺産の認定を受けた知床の大自然をはじめとして、ウトロ地区の温泉や北の味覚など、観光地として様々な魅力を備えている斜里町には、年間およそ 150 万人もの観光客が訪れます。温泉が流れる滝（カムイワッカ）や流氷が一望できるスキー場、また観光の中心であるウトロ地区には大小の温泉宿があり、ここから車で 20 分ほどの知床五湖では、遊歩道が整備され世界自然遺産となった知床の自然を身近に観察できます。

■おまつり・イベント

７月　しれとこ斜里ねぷた

９月　しれとこ産業まつり

移住に関するお問い合わせ窓口

総務部企画総務課企画係　☎ 0152-23-3131（月～金 8：45 ～ 17：30）

WEB サイト　http://www.town.shari.hokkaido.jp/80iju/index.html

メールアドレス　sh.kikaku@town.shari.hokkaido.jp